



## 私は信じます



### 恵みと真理教会 チョヨンモク 牧師

“聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、身体によみがえり、永遠(とこしえ)のいのちを信ず。アーメン。”これは使徒信條の最後の部分です。この最後の部分を五つで区分して説明します。

#### 第一、“聖なる公同の教会”に関してよく見ます。

聖なる公同の教会は英語で ‘Holy catholic church’ です。 ‘catholic’ は ‘普遍的、宇宙的’ という意味があります。 ‘聖なる公同の教会’ は教会が非常に広い領域で拡がることを意味します。 イエスキリストがおっしゃるのを “ただ、聖霊があなたがたにくだる時、あなたがたは力を受けて、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地のはてまで、わたしの証人となるであろう。” (使徒行伝 1:8) しました。この言葉はイエスキリストの教会が広範囲な時代と地域と人種を含むことを現わしています。 ‘教会’ という単語は新約聖書を記録したヘルラ語で ‘エクルレシア’ と言います。 ‘呼ばれを受けた人々の集まり’ を意味します。神様を敬排しながら仕えるように神様の呼ばれを受けた人々の集まりが教会です。教会という意味を持った英語 ‘church’ はヘルラ語 ‘クィリアコス’ から由来したのです。 ‘神様に属する’ という意味があります。だから教会とは神様によって世の中で呼ばれを受けて主イエスキリストに属した人々の集まりを意味します。もっと手短かに定意すれば教会はクリスチャンの集まりです。教会の意味をもう少し深く理解しようとするればイエスキリストと信者の関係が分からなければなりません。イエスキリストと信者の関係は命に関わっています。イエスキリストがおっしゃるのを “わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。” (ヨハネによる福音書 15:5) と言いました。枝はぶどう木に付いて木から命を供給を受けています。イエスキリストはあがないの死を死んで復活してイエスキリストを信じる人々が聖霊で生まれかわって新しい命を得るようにします。教会を ‘聖なる公同の教会’ と呼ぶ理由があります。信者の集まりは聖なった人々の集まりであるからです。神様の呼ばれるようになるのです。神様の呼ばれを受けてイエスキリストの中に入って来れば 聖なる公同の教会に属するようになるのです。

#### 第二、“聖徒の交わり”に関してよく見ます。

聖徒の交わりと言うのは親密に付き合いを分けて協力しながら一緒に神様を仕えることを意味します。聖徒がほかの聖徒を忌避して一人で信仰生活をするのは聖書の教えに違います。その理由は聖徒に対する多くの名称によく現われています。

聖徒は ‘神様の家族’ です。エペソ人への手紙、2章 19節に “そこであなたがたは、もはや異国人でも宿り人でもなく、聖徒たちと同じ国籍の者であり、神の家族なのである。” と言いました。聖徒は神様の子に成り立った大家族中の一人なので一人きり行動するのではなくお互いに交通しなければなりません。

聖徒は ‘神様の家’ です。エペソ人への手紙 2章に “またあなたがたは、使徒たちや預言者たちという土台の上に建てられたものであって、キリスト・イエスご自身が隅のかしら石である。このキリストにあって、建物全体が組み合わせられ、主にある聖なる宮に成長し、そしてあなたがたも、主にあって共に建てられて、霊なる神のすまいとなるのである。” (エペソ人への手紙 2:20~22) しました。聖徒は ‘キリストの身’ です。コリント人への第一の手紙 12章 27節に “あなたがたはキリストのからだであり、ひとりびとりはその肢体である。” と記録されました。私たちはキリストの身であり肢体なので集まらなければならないし交通しなければなりません。聖徒は集まって礼拝して親交を分けて奉事しなければなりません。イエスキリストがおっしゃるのを “また、よく言うておく。もしあなたがたのうちのふたりが、どんな願い事についても地上で心を合わせるなら、天にいますわたしの父はそれをかなえて下さるであろう。ふたりまたは三人が、わたしの名によって集まっている所には、わたしもその中にいるのである。” (マタイによる福音書 18:19, 20) と言いました。聖徒が集まってお互いに交われば神様が私たちの中いらっしゃいます。聖徒が集まって仕事を論議して決めれば天にいらっしゃる父がその仕事が成り立つようになさいます。聖徒が集まって祈る時に神様が回答します。

#### 第三、“罪のゆるしてくださること”に関してよく見ます。

私たちが罪のゆるしを信じる根拠はイエスキリストの成肉身と生涯と死と復活と天に昇りにあります。知性と教養を兼備して慈善と救済に力をつくして歴史に記録されるに値する業績を残しても神様頃から罪のゆるしを受けることができないです。神様がイエスキリストを信じる人は誰でも罪の赦しを受けさせました。イエスキリストによる罪のゆるしの福音を信じるとか拒否するとかそれは各自の自由です。しかしその選択の結果は天国と地獄の差を持って来ます。私たちが罪を犯して不義してみにくくて滅亡を受けるようになる罪人にもかわらずイエスキリストによるあがないの恵みを受け入れれば神様が私たちのすべての罪を赦し下さって神様の義を賜物でください。

#### 第四、“身体によみがえり”に関してよく見ます。

人々は肉体の老けることと死と腐敗を解決しようと思うが肉体の衰退と死と腐敗は阻むあてがないです。神様が土から人を作って神様の見るのに良かったと言いました。イエスキリストが人の身を着て世の中へいらっしゃいました。聖霊が聖徒の身に臨在します。死ねばくさる身だが私たちの身は軽蔑の対象ではないです。私たちの身が死んでどんな状態であろうがイエスキリストが天から下りる時にまた生きるようになります。 “身体によみがえりを信じます。” という信仰告白は聖書に予言されて約束されたお言葉に根拠するのです。イザヤ 26章 19節に記録されるのを “あなたの死者は生き、彼らのなきがらは起きる。ちりに伏す者よ、さめて喜びうたえ。あなたの露は光の露であって、それを亡霊の国の上に降らされるからである。” しました。イエスキリストの復活は私たちが身の復活を信じる一番確かな根拠です。私たちの身がどんな姿で復活しようか? という質問に対する答がコリント人への第一の手紙 15章にあります。 “死人の復活も、また同様である。

朽ちるものでまかれ、朽ちないものによみがえり、卑しいものでまかれ、栄光あるものによみがえり、弱いものでまかれ、強いものによみがえり、肉のからだでまかれ、霊のからだによみがえるのである。肉のからだがあるのだから、霊のからだもあるわけである。” (コリント人への第一の手紙 15:42~44)。このような事がいつ起きますか? という質問に対する答はテサロニケ人への第一の手紙 4章にあります。イエスが死んで復活されたからには、同様に神はイエスにあって眠っている人々をも、イエスと一緒に導き出して下さるであろう。わたしたちは主の言葉によって言うが、生きながらえて主の来臨の時まで残るわたしたちが、眠った人々より先になることは、決してないであろう。すなわち、主ご自身が天使のかしらの声と神のラッパの鳴り響くうちに、合図の声で、天から下ってこられる。その時、キリストにあって死んだ人々が、まず最初によみがえり、それから生き残っているわたしたちが、彼らと共に雲に包まれて引き上げられ、空中で主に会い、こうして、いつも主と共にいるであろう。復活を信じる聖徒はどうやって暮さなければならないはずなのかに対する返事がコリント人への第一の手紙 15章 58節に明示されています。 “だから、愛する兄弟たちよ。堅く立って動かされず、いつも全力を注いで主のわざに励みなさい。主にあっては、あなたがたの労苦がむだになることはない、あなたがたは知っているからである。”

#### 五番目、“永遠(とこしえ)のいのちを信ず”に関してよく見ます。

聖徒が永遠に暮らすことは神様がくださる最大の約束であり最上の贈り物です。ヨハネによる福音書 3章 16節に “神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。” と言いました。イエスキリストを信じるだけで永生を得ます。イエスキリストを信じる人は新しい天と新しい地、新しいエルサレムで愛する神様とともに永遠に生きるようになります。イエスキリストを信じない人は希望に満ちる未来がない人です。もしそんなに未来に対する希望を持っていると言ってもそのすべてのものは虚荒されたのです。イエスキリストを信じる人にはこの世の中の何でも比べることができない燦爛たる未来が約束されています。その約束は復活と天国と賞に対するのです。

使徒信條は ‘アーメン’ で終わります。これは ‘真実で、確実に、彼と一緒にしてください、そうです。’ という意味を持っています。私たちは信仰の告白をする時 “私が信じてあり、私が信じるのです。” と言います。信仰は自分の決断ではなければなりません。使徒信條の内容が分かることだけでは十分ではないです。信じなければならぬ他人の前で言えなければなりません。ローマ人への手紙、10章 10節に “なぜなら、人は心に信じて義とされ、口で告白して救われるからである” と言いました。イエスキリストがおっしゃるのを “だから人の前でわたしを受け入れる者を、わたしもまた、天にいますわたしの父の前で受け入れるであろう。しかし、人の前でわたしを拒む者を、わたしも天にいますわたしの父の前で拒むであろう。” (マタイによる福音書 10:32, 33) しました。信仰の告白は有益な結果をもたらします。信仰を告白すれば信仰が堅固になります。信仰を告白すればサタンの誘いを阻みます。信仰を告白すれば神様を喜ばれます。皆さんは使徒信條を暗誦する時その意味を吟味する楽しさが心霊に充滿するように願います。